

# 第389回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナーが開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

## 記

**日時：** 平成28年7月7日(木) 16:20~18:00

**場所：** 広島大学 総合科学部 K207

**演題：** 記憶痕跡とは何か

**演者：** 林 康紀 氏

(京都大学・医学部薬理教室・教授)

### 〈 講演要旨 〉

皆誰でも子供の頃の記憶はある。考えてみればこれは不思議だ。起こったことや場所、その場にいた人、自分の気持ちなど様々な事象を生涯に亘ってどのように脳の中の神経細胞にコードされているのであろうか。私が子供の頃にあったタンパク質はとうの昔に新しい分子と置き換わっているであろう。その頃から残っているのはなんだろう？

記憶が形成されると脳内に何らかの変化が生じ、それが外界およびそれに付随した感情など内的な情報を蓄えると考えられる。記憶の実態は何か、どのように形成されるか、どこにあるのか、どのように維持されるのか、そしてどのように呼び起されるされるのか。

本講演では、我々の研究成果をはじめとして、最近の記憶研究のトピックスを紹介したい。

責任者 総合科学研究科・田中晋平（内線 6551）

主催者 生物圏科学研究科・清水典明（内線 6528）

(注)生命科学共同セミナーを受講する生物圏科学研究科の院生は、特に積極的に参加してください。

(注)このセミナーは5研究科共同セミナーの一環として開催されます。

(注)このセミナーは総合科学演習または研究演習の一部として認められています。